



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2011回 例会28年 7月15日(金)

【クラブ協議会】

NO1998

2016-8-5発行

2016~2017年度

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム
RI会長テーマ“人類に奉仕するロータリー”

第2570地区 ガバナー前嶋修身
地区テーマ “知恵と元気を”

【会 長】柳田政男

【副会長】野崎秀一

【幹 事】齊藤正司

【副SAA】平岡直也



【点 鐘】 会長 柳田政男会員

【斉 唱】 ロータリーソング「奉仕の理想」

【会長の時間】 会長 柳田政男会員

今年度活動テーマ

地域の中でロータリー



7月9日、米山記念奨学生部門セミナーが開催されました。詳細については後日、担当委員会より報告がありますが、今日は概要を少しだけお話しさせていただきます。

開会セレモニーのあと、奨学生により「ロータリー米山記念奨学生となって」のテーマでスピーチがありました。学友になって数ヶ月、または1年を経過した方もいましたが、それぞれの思いを述べられました。この席上、米山記念奨学会ホームカミング制度の資料が配布されました。

この制度は国内外で活躍する学友に里帰りしてもらい、旧交を温めるとともに、学友の感謝の心と活躍する姿を学友のスピーチを通じて多くのロータリアンに米山奨学事業の意義を伝えるための制度として2008年度に設立されたものです。

富士見RCでも多くの奨学生を受け入れて参りました。今も親交があり、スピーチ可能な学友がいましたらお申し出て下さい。地区に申請後、審査され、招待者が決定されます。

このホームカミング制度で来日した学友の記事がロータリーの友6月号に掲載されていたので一部ご紹介させていただきます。

この制度で来日、地区大会でスピーチされたのが成田RC世話クラブと受け入れたモンゴル出身のシルネン・ブヤンジャルガルさんです。

苦学の末千葉大学に進学。この時米山奨学制度に出会い、大学院まで進み、卒業されました。帰国後、日本で受けた教育の原点である高等専門学校を作る決意をされ、開校されました。

「ロータリアンの皆さんが蒔かれた米山奨学生という種が新モンゴル高専として実を結び、私の大切な220人の子ども達という種をまたつけ始めています」とスピーチを締めくくりました。

詳しくは6月号の60Pに載っておりますのでご覧ください。

2570地区では今年度16名の奨学生を受け入れています。この奨学金制度は会員の皆様の寄付によって支えられています。2770地区では当地区より10名多く受け入れています。引き続きご支援をお願いします。また、7月5日付けでR財団部門委員長よりお知らせが届きました。地区補助金送金口座の確認という標題です。

地区補助金申請は各クラブからの申請を取り纏め、地区が一括でロータリー財団に申請し、その内容承認を受け、初めて申請額を受領できるシステムとなっております

地区がロータリー財団より認定を受ける事が条件で、前嶋ガバナー、細井ガバナーエレクト、柴崎ロータリー財団部門委員長の3名の署名が必要です。ようやく3名の署名がそろったので申請可能になったそうです。地区からは24クラブ、第2グループでは朝霞、志木、和光、富士見が申請しています。

この文面を見るとガバナーエレクトの承認が必要という事で始めて細井ガバナーエレクトというお名前が飛び込んできました。どのクラブ所属なのか、今現在、私もわかっておりませんが、これから正式に発表があると思われます。

さて、今例会から野崎副会長がBテーブルに移りました。3人が仲たがいでいるのではなく、会長、幹事が広くテーブルを使用してほしいからの配慮です。ご理解ください。

また、吉野会員には多くのご支援をいただきましたが、残念な結果となってしまいました。私からもご支援ご協力に対し、お礼申し上げます。

【幹事報告】 幹事 齊藤正司会員



1) 例会変更の件

1. 志木柳瀬川RC

7月14日(木) ⇒同日 定款取消

7月21日(木) ⇒同日 祝日週により例会取消

7月28日(木) ⇒同日 親睦例会
暑気払い 場所 マルイ屋上

2. 当クラブ

7月22日(金) →7月21日(木)

夜間移動例会 点鐘18時30分

場所 ひで蔵 R研修委員会主催

7月29日(金) →定款による例会取り止め

2) 次の書類を回覧します

1. ロータリーコーディネーターNEWS8月号

2. ハイライトよねやま196

3. 新座RC会報

【委員長報告】

○会報・IT委員会→

委員長 長根 章浩会員

柳田年度、7月1日2009回の会報に修正がありましたので差し替えて下さい。

ホームページ更新でのロゴの変更をしました。



【出席報告】 増田 茂会員

		正会員数	免除会員	出席率	マイクアップ	修正出席率
7月15日	会員数	47名	13名	-		
	出席数	25名	5名	75%	0	0

【ニコニコBOX】委員長 江澤康夫会員

江澤康夫会員

吉野欽三会員、頑張りました。リベンジを!

小椋博之、奥田功次、尾崎孝好会員

長根章浩、増田 茂会員

前回欠席しました。

浅見隆広会員

遅刻しました

本日合計¥6000

【クラブ協議会】会長 柳田政男会員

○会報・IT委員会→委員長 長根章浩会員

方針

ロータリーとその歴史、綱領及び実際の活動状況について広く一般への情報提供と同時に会員相互の情報共有の推進を計る。実行にあたりホームページの運用を初めとして適切な広報・宣伝を推進するとともに、クラブのIT化の促進を行う。

活動

- ・例会時の運営サポート(プログラム等)
- ・事務局へのサポート(会報・マイロータリー)
- ・ホームページの定期更新の実施
- ・ホームページ内に「会員の部屋」を作成

○R研修委員会→委員長 齊藤英雄会員



方針

5年未満の会員の基本研修を行っていきます。新会員のそれと同時に新しく入会された会員の方の居場所・立つ位置が定まるように皆でフォローアップしていくように親睦を重ねた、堅苦しくない研修会を行っていかうと思います。

○広報委員会→

委員長 荒城幸夫会員

方針

今季は地域を初め社会に密着した会長、会員の声を取り入れ、多くの市民にロータリー活動を理解して頂き密着型を取り入れ外部に対しておおいにアピールしていきたい。

活動

- ・公共イメージの向上・地域活動の参加
- ・クラブの活動のPR
- ・地域企業等に活動を広報する
- ・ロータリーの活動の紹介する

○職業奉仕委員会→委員長 奥田功次会員



方針

ロータリーは、職業を通じて社会に奉仕するという理念で、大きく発展しました。クラブ定款第5条2項に「あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく」とあります。自己の職業を社会に有用なものとし、職業を通じ社会に奉仕する。

ロータリアンになりますよう、共に学びたいと思います。

シェルドンの奉仕理念 我々職業人が自らの事業の継続的な発展を願うことは当然です。企業経営によって利益を得ることも当然であり、決して卑しいことではありません。しかし合法的でない方法や道徳的でない方法や、他人から批判を浴びるような方法で一時的に大きな利益をあげたとしても、それは長続きするものではありません。

シェルドンは自らの事業を継続的に発展させるための学問的な企業経営の理念と実践方法を考え出して、そりをロータリーの職業奉仕理念として提唱したのです。

○社会奉仕委員会→委員長 島田敏郎会員

地域への奉仕活動を行い公共イメージと認知度の向上を計り、地域社会におけるロータリークラブの役割を見出す。



○ブライダル委員会→委員長 山城 盛会員



地区の行事の中でロータリーのご子息、子女の結婚を願って少しでも役に立てるようにしたいと思います。守秘義務がありますので慎重にやっていきたいと思っています。

○環境委員会→

委員長 尾崎孝好会員

方針

ホテルの生育環境の整備はもとより地域の自然や環境の保全と活用に向けて他の団体との連携も含めて活動を進めて参ります

活動

- ・ホテルの生育に向けた取り組み
- ・諏訪の森の環境整備

○国際奉仕委員会→

委員長 山口 勇会員

国際支援委員会と国際交流委員会の地区委員長よりそれぞれメールを頂いておりますのでご紹介致します。

①今年度、国際支援委員会、田中哲夫地区委員長(熊谷RC)より「国際支援活動金」のご協力についてご紹介致します。

発展途上国の多くの国では、道路や鉄道、橋梁等のインフラ投資が優先し、教育予算が大巾に不足している為、子供たちにとって最も大切な教育費は仏門の僧侶より寄進された浄財を運営費として支援を頂いておりますが寺子屋等の支援には程遠いのが実情です。

②国際交流委員会、大館 廣地区委員長(所沢中央RC)からの内容は当、2570地区と西オーストラリア州第9455地区との間で相互訪問、今期41年目を迎えます。

- 1)派遣「アウトバウンド」の対象は高校生から30歳までの青年で原則としてロータリアン関係
- 2)派遣地はオーストラリア、パース市を中心に2週間のホームステイを通じた交流
- 3)例年1月にオーストラリアチームが来日しその後3月に日本チームが訪問。



この交流による効果はお互いの国の文化、習慣、言語を体験でき、その効果は非常に大きなものがあり、是非青少年にこのプログラムをお勧め頂きたいお願い致します。

前年度はオーストラリアから7名、日本から4名のエントリーと寂しい状況でした。当地区から派遣生の応募者数が少ない為ご協力を重ねてお願い致します。

イメージ的には青少年交換委員会のスモール版的な概要です。

○ロータリー財団委員会→

副委員長 石川 泉会員



方針

R財団の使命はロータリー会員が健康の改善・教育への支援・貧困の救済を通して世界理解,親善、平和を達成出来るようにすることです。

「クラブと地区」そして世界平和」の活動資金を集めていきたいと思っています。

活動

- ・ロータリー財団の理解と研修
- ・地区補助金・グループ補助金の申請
- 「諏訪の森清掃活動」を富士見RCとして申請
- ・ポリオプラスの最終局面
- 1979年以来125ヶ国35万人以上の感染から99.9%減少

○米山記念奨学委員会→

委員長 野崎秀一会員

方針

R Iで認められた60年近く以上も続く他地区合同活動であり日本のロータリアンが育てた世界に誇れる事業であります。特に世話クラブ及びカウンセラー制度はロータリアンとの交流により金銭的な支援だけではとても得る事の出来ない独特の事業です。

活動

1. 2015-16年度豆辞典に目を通し基本を十分理解して頂く
2. 米山記念奨学会への寄付、米山功労者、マルチプル米山功労者への勧誘



3. 奨学生にクラブが「世話クラブ」としロータリーとの交流の起点となる
4. カウンセラーの吉原会員への協力とチンイハンさんへの交流、支援
5. 米山記念奨学部門地区委員

ロータリー米山記念奨学推進委員会
委員 横田昌則会員
ロータリー米山記念奨学学友委員会
委員 下山定夫会員
カウンセラー 吉原孝好会員

○青少年奉仕委員会→委員長 森田仁一会員

方針

交換留学生にとって学業はもとより異国の文化や人々と交流体験することによって自己啓発できる最も効果的な方法だと考えます。

貴重な体験や勉強を通して立派な人財に成長することをお手伝いします。

また受入れ学生を温かく見守り、不慣れな日本での生活をサポートすると同時に、ご協力を頂くホストファミリーや受入れ学校等の関係者また地区と連携図りながら、1年間の滞在を無事に過ごせるよう力を尽くします。

活動

- ・ホストクラブとして留学生に対して安心安全を確保する。
- ・青少年委員会には4つの委員会がありますので、各プログラムに参加したいと思います。

【点鐘】会長 柳田政男会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会	週報担当:長根章浩
委員長:長根章浩	副委員長:小椋博之
委員:栗原 平	浅見隆広 西崎哲章